

消えていくもの

詞・曲：吉田拓郎

G G Am C G G G B7C D ↓↓ C ↓↓ Bm ↓↓ Am7 ↓↓

G D G D C
僕は角のたばこ屋サンが好きだった 大した理由は無いけれど好きだったな
Em Bm Am7 D Em Em7 G Cmaj7 C D G
毎日あそこを歩いて学校へ通った 話をした 事はないけど 何となく気になる
Bm Em C D G G G
おバサンがいて お茶飲みながらいつも笑ってた

B7C D ↓↓ C ↓↓ Bm ↓↓ Am7 ↓↓

G D G D C
僕は社会科の先生を覚えてる いつもジントンを片手いっぱい頬張ってた
Em Bm Am7 D Em Em7 G Cmaj7 C D G
独特のニオイがああ頃好きじゃなかった 先生の事少しキライで少し愛していた
Bm Em C D G G G
居眠りすると 何にも言わずにジントンを食わされた

EmD Em CD G EmD Em CD G

G D G D C
僕が中途ハンパな男になりかけた頃 男に目覚めた夜があつて思いも遂げた
Em Bm Am7 D Em Em7 G Cmaj7 C D G
女の人を大切にしなければダメだよと 10歳以上年上の その人が言った
Bm Em C D G G G
約束だから いくつになっても言いつけを守っている

B7C D ↓↓ C ↓↓ Bm ↓↓ Am7 ↓↓

G D G D C
僕が完璧な大人になった 今 色んなものが形かえて消えていった
Em Bm Am7 D Em Em7 G Cmaj7 C D G
思い出という大げさな感情ではなく あの人をいて風に吹かれた あの日の景色
Bm Em C D G G Bbase
そういう中で じりじりしながら成長してたんだ

Em D Em C D G Bbase

消えていくんだネ 消えてしまったネ

Em D Em C D G Bbase

時が流れていく 時が移っていく

Em D Em C D G Bbase

少し泣きたくなる ちょっと悲しくなる

Em D Em C D G Bbase

少し泣きたくなる ちょっと淋しくなる

EmD Em CD G Bbase EmD Em CD G Bbase EmD Em CD G Bbase

EmD Em CD G